

平成24年度

# 韓国務安郡派遣研修報告書

平成24年8月16日(木)～20日(月)



北名古屋市

# 目次

● 務安郡派遣日程表	1
● 派遣者名簿	2
● 務安郡 名勝地	3
● 韓国での体験・研修レポート	
宗宮 翼（師勝中学校）	4
牧野 圭希（師勝中学校）	6
西川 一輝（西春中学校）	8
大島 央樹（西春中学校）	10
加藤 有梨奈（西春中学校）	12
細倉 千希（白木中学校）	14
半谷 瑠莉（白木中学校）	16
牧元 一哉（訓原中学校）	18
松田 優希（熊野中学校）	20
吉田 朱里（天神中学校）	22
畑野 花奈（天神中学校）	24
重松 貴裕（南山中学校）	26
● 務安郡での体験風景	28

# 北名古屋市中学生の務安郡派遣日程表

月/日/曜	場所等	時間	便名等	内 容
1日目 8月16日(木)	岩 倉 中部国際空港 (セントレア) 金 浦 ソウル	8:40 9:05 9:48 11:40 13:40 14:20 17:30 19:30	7 C-1681 専用バス	岩倉駅西口集合 岩倉駅発 中部国際空港到着 チェジュ航空にてソウルへ 金浦国際空港着 市内観光(景福宮、民俗博物館 他) 夕食(プルコギ) ホテルチェックイン
2日目 8月17日(金)	ソウル 金 浦 光 州 務安郡	8:00 9:50 10:40 12:00 13:30 15:00 17:30	専用バス O Z-8703 専用バス	ホテルチェックアウト 金浦空港へ移動 アジアナ航空にて光州へ 光州空港着 務安郡へ移動 昼食(韓定食) 務安郡庁訪問(自己紹介等) 草衣禪師誕生地見学 茶道・韓国文化・民俗衣装体験 ホストファミリー宅へ
3日目 8月18日(土)	務安郡	8:00 9:00 10:30 11:30 13:00 16:30 18:00 20:00	専用バス	文化芸術会館集合 回山白蓮池見学 ホタム航空宇宙展示場見学 昼食(韓牛焼肉) パト牧場(干潟体験、牧場体験、チーズ作り体験 等) 務安生態干潟センター見学 歓迎会(夕食) ホテルチェックイン
4日目 8月19日(日)	務安郡 光 州 金 浦 ソウル	8:40 9:00 11:00 12:00 13:50 14:40 15:00 18:30 19:30 21:00	専用バス O Z-8706 専用バス	ホテルチェックアウト 海洋文化財研究所・自然史博物館見学 昼食(豚焼肉) 光州空港へ移動 アジアナ航空にて金浦へ 金浦空港着 市内観光(南山韓屋村、明洞散策 他) 夕食(参鶏湯) 市内観光(南大門市場) ホテルチェックイン
5日目 8月20日(月)	ソウル 仁 川 中部国際空港 (セントレア)	9:00 11:00 15:00 17:00 19:00	専用バス 7 C-1602 専用バス	ホテルチェックアウト 仁川国際空港へ移動 昼食(石焼ビビンバ) チェジュ航空にて日本へ 中部国際空港着 北名古屋市へ移動 北名古屋市西庁舎到着、解散式

# 派遣者及び交流生徒名簿

## 北名古屋市中学生

学校名	学年	性別	氏名
師勝中学校	2	男子	宗宮 翼
師勝中学校	1	女子	牧野 圭希
西春中学校	2	男子	西川 一輝
西春中学校	1	男子	大島 央樹
西春中学校	1	女子	加藤 有梨奈
白木中学校	1	女子	細倉 千希
白木中学校	1	女子	半谷 瑠莉
訓原中学校	1	男子	牧元 一哉
熊野中学校	1	男子	松田 優希
天神中学校	1	女子	吉田 朱里
天神中学校	1	女子	畑野 花奈
南山中学校	1	男子	重松 貴裕

## 務安郡中学生

学校	学年	性別	氏名
務安中学校	1	男子	金 東炫
務安中学校	1	女子	羅 惠美
務安北中学校	1	男子	韓 揆錫
務安北中学校	1	女子	鄭 有廷
清溪中学校	1	男子	丁 權能
玄慶中学校	1	女子	權 民貞
南岳中学校	1	男子	朴 範喜
望曇中学校	1	男子	朴 昇赫
望曇中学校	1	女子	吳 秀妍
南岳中学校	1	女子	金 知衍
海際中学校	1	男子	張 智元
海際中学校	1	女子	朴 炆衍

## 引率者名簿

### 北名古屋

事務局	防災環境部参事	加藤 明
訓原中学校	校務主任	岡田 好正
白木中学校	教諭	小栗 寿美
事務局	人事秘書課	早川 正博

### 務安郡

望曇中学校	教頭	李 中丘
玄慶中学校	教師	裴 世鉉
務安郡	行政支援課	成 子鉉
	通訳(ガイド)	姜 知延

# 務安郡 名勝地



白蓮池

草衣禪師  
誕生地



干潟

## 体験・研修レポート

北名古屋市立師勝中学校2年 宗宮 翼

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

僕は、8月16日～20日、韓国の務安郡への研修派遣に参加しました。この研修派遣に応募した第一の理由は、海外に行ってみたいという気持ちが強かったからです。海外に行ったことがなかったので、日本と比べて習慣がどう違うのかがとても気になっていました。韓国料理が食べてみたいということや、韓国の文化にふれてみたいなどいろいろありました。韓国の人たちと仲良くして友好関係をつくり、日本と韓国の交流をこれからもっと深めていきたいということもあって参加しました。

実際に派遣に参加して、韓国人が普通に韓国語で話してきたことが何回もあってとても困りました。日本人と韓国人は顔が似ているので、間違えられたのかなと思いました。この派遣に参加して韓国の友達と仲良くなって、韓国と交流できる機会ができたのでとても良かったです。



一緒に派遣した中学生と景福宮の門にて

### 2. 務安郡でのホーム・ステイを体験して

韓国では言葉が通じないから困りました。しかし、ホーム・ステイ先では、キム・トンヒョン君のお姉さんが日本語を話せたので言葉には苦労せず、とても助かりました。

務安郡は、市街地から離れていたもので、僕が住んでいる北名古屋市より建物が少なく、びっくりしました。夕食は、1時間くらいかかるところにホストファミリーと食べに行きました。夕食は刺身を食べました。務安郡は海の近くなので、生きている魚をその場でさばいたものを食べました。とてもおいしかったです。韓国では、お客さんにはたくさんごはんを食べさせるという習慣があり、ごはんの量がすごく多くて、食べるのが大変でした。

家に戻ってからは、トンヒョン君とゲームで遊んでとても楽しかったです。PS3というゲームで遊び、他にもDSやPSPなど、日本にもあるゲームがたくさんあってびっくりしました。

韓国のお風呂はシャワーだけで、湯船にはつからないということでした。トイレはシャワーとつながっていて、トイレトペーパーは流せないのので、ゴミ箱に捨てていました。間違えて流したら詰まりそうになり、とてもあせりました。

朝ごはんは、出し巻き卵や韓国のりなどの料理をたくさん食べました。最後にホストファミリーと一緒に写真を撮りました。

ホストファミリーの方たちにとってもやさしく接してもらい、ホーム・ステイを楽しむことができました。1泊しかなかったのもっと泊りたかったです。このホーム・ステイは、とても良い思い出になりました。これからも交流を続けて仲良くしていきたいと思います。次に

韓国に行く機会があったら、トンヒョン君の家を訪ねてみたいと思います。



トンヒョン君の家にて



パジチョゴリを着てお茶を飲む

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

僕は、務安郡でホーム・ステイや観光をしていろいろなことを学びました。観光では、干潟や干潟センターなどを見に行きました。とても大きい干潟で、カニや貝やカキが少し掘るとたくさん出てきました。干潟センターでは、干潟について詳しく説明を聞きました。パジチョゴリも着ました。初めて着ましたが、重くて暑かったです。パジチョゴリを着ながら、韓国のお茶の入れ方も学びました。他にもいろいろなところを観光しました。務安郡は、北名古屋市と比べてのどかな町だったので、日本とは違う風景を見ることができておもしろかったです。車に乗ったとき、日本とは運転席が逆だったので、助手席にらせてもらったのに、自分が運転している感じで楽しかったです。

日本と韓国がもっと仲良くなって、今後も韓国の友達と交流を続けられたらよいと思います。

## 体験・研修レポート

北名古屋市立師勝中学校1年 牧野 圭希

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

韓国は、私にとって一番身近な外国だ。私が通っていた幼稚園は、韓国の幼稚園と交流があり、韓国語の歌を覚えたり、韓国からお客様がお見えになったりしていた。それが初めての韓国との出会いだ。また、5年ほど前、我が家に韓国の小学生がホーム・ステイをした。残念ながらその子とはあまり親しく話すことができなかったが、そのときから韓国について知りたいという気持ちは、一層強くなった。そして、学校からこの派遣の参加者募集の紙をもらったとき、韓国のことをもっとよく知る機会になると思い、応募した。一緒に派遣されるメンバーには、知っている人が一人もおらず、最初少し不安だったが、事前研修などで少しずつ話をするようになり、韓国に出発するころにはすっかり打ち解けていて、とてもわくわくした気持ちで研修に参加した。

務安郡に到着して、最初に郡庁を訪問した。韓国語での自己紹介は、事前研修で文章を考え、移動中のバスの中でもたくさん練習していったのに、緊張して上手にしゃべることができなかった。韓国語はとても難しかった。



派遣メンバーと記念撮影！

そのあとチマチョゴリを着せていただいた。韓国の時代劇などを見てイメージしていたチマチョゴリより柄がかわいく、とてもきれいだった。日本の着物より軽くて着やすいと感じた。そして、そのチマチョゴリを着たまま、韓国の茶道を体験した。私が入れたお茶を韓国の中学生が飲んで、おいしいと言ってくれてうれしかった。

その後、白蓮池のボートに乗ったり、干潟に行ったりした。干潟へ行くバスは、道とは思えないところを進むので、すごく揺れて怖かったが、おも

しろかった。また、牧場でみんなで作ったアイスクリームが特別においしく感じた。

務安郡で過ごす最後の夜は、韓国の子たちとホストファミリーの方々との交流会だった。みんなでご飯を食べながらいろいろな話をしたが、これでもう最後だと思うと、悲しくなってしまった。

務安郡を離れる日に行った自然史博物館に、ホストファミリーの人が、お別れを言うために会いに来てくれた。私は、またいつか会いたいという気持ちをこめて「トマンナヨ（また会いましょう）」と言い、務安郡を後にした。

普通の観光旅行で絶対できないようなことをたくさん経験させていただき、一生忘れられない5日間になった。いつかもう一度、韓国、そして務安郡を訪れたいと思う。

## 2. 務安郡でのホーム・ステイを体験して

私はナ・ヘミちゃんの家で、ホーム・ステイをさせていただいた。私はホーム・ステイをするのが初めてでドキドキしていたが、ヘミちゃんとは、彼女が日本に来てくれたときに仲良くなっていたので、とても心強かった。ヘミちゃんの家族は、とても優しく私を迎えてくれた。一緒にご飯を食べに行ったとき、見ていたテレビに「少女時代」が出ていた。知っている韓国スターを見て、ちょっとうれしかった。その後、ショッピングにも連れて行ってもらった。そこにある商品が何なのかを、ヘミちゃんがジェスチャーや英語で教えてくれた。ヘミちゃんは英語がとても上手で、発音もすごくきれいだった。私も習いたての英語で一生懸命会話しようとしたが、レベルが全然違った。日本に帰ったらもっと英語の勉強を頑張らなくてはと思った。

ヘミちゃんの家は、平屋できれいだった。家では、ヘミちゃんと妹と3人で遊び、ヘミちゃんが絵を描いてくれた。とても上手で、うらやましかった。朝ご飯は食パンとヨーグルトで、日本の朝とあまり変わらないと思った。

ホーム・ステイの時間はあっという間に過ぎた。とても優しく接してくれたヘミちゃんの家族には、本当に感謝している。



## 3. 務安郡での研修で学んだこと

この研修で、日本の干支の最後は「亥」だが、韓国では「豚」であること、日本のお茶は苦味が強いが、韓国のお茶はそんなに苦味が強くないことなど、二つの国の文化が少し違っていたり、少し似ていたりしていることを知った。

また、言葉が違っていても、自分の気持ちを伝えたい、相手の気持ちをわかりたいと強く思えば、心は通じ合えると感じた。ヘミちゃんは初めて会ったときから、私が何かを伝えようとすると、一生懸命わかろうとしてくれ、私もその気持ちに一生懸命応えた。今も、ヘミちゃんとは時々メールを送りあって交流を続けている。私は、英語も韓国語もまだ上手に使えないが、それでも、自分の近況などを何とか伝えようと頑張っている。



今、日本と韓国の間には、私たちの力ではどうすることもできない、難しい問題がたくさんある。だからこそ、国同士の関係を超えて、人と人とのつながりを大切にしなければならないと思っている。今回の研修で生まれたヘミちゃんとの友情をずっと大切にしていきたい。そして、この研修での経験を生かして、将来、日本と韓国の架け橋となれるよう、語学やそのほかの勉強を頑張ろうと思う。

## 体験・研修レポート

北名古屋市立西春中学校2年 西川 一輝

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

僕は、父に勧められて、8月16日から8月20日の5日間、務安郡への研修派遣に行ってきました。初めて海外に行ったので、とても緊張しました。事前研修会では、韓国には徴兵制度があることを知り、無くなればいいのと思いました。韓国に行く2日前には、竹島をめぐる領土問題が起きて、韓国に行くのが不安になりました。しかし、務安郡に着いたら、現地の人たちが温かく迎えてくださり安心しました。また、とても嬉しかったです。また、豊かな自然



がたくさんあり、心からこの派遣に参加して良かったと思いました。言葉が通じないときもありましたが、積極的に話しかけてもらって、とても嬉しかったです。

今回の派遣に参加した他の中学生とも韓国の中学生とも仲良くなり、今回の研修でしか会えなかったかもしれない、かけがえのない友達がたくさんできました。特に韓国の中学生には、この機会がなければ、会うことはなかったと思います。

今回の研修派遣では、引率していただいた方々以外にも、たくさんの方がいろいろなことで僕達を支えてくださったと思います。皆さんに感謝しながら、今回の派遣をこれからの人生に役立てていきたいです。

### 2. 務安郡でのホーム・ステイを体験して



僕は、ハン・ギョソク君という中学一年生の子の家にホーム・ステイをしました。韓国では地震がほとんどないから、高層のマンションがたくさんありました。ギョソク君の家も、高層マンションでした。ギョソク君のお父さんとお母さんは、自営業をされていて、お兄ちゃんとお姉ちゃんは塾に行くなど、家族全員が家にいる時間があまりありませんでした。

夕食は、プルコギやキムチなどが出ました。キムチがとても辛くてヒーヒー言っていると、みんなが笑っていました。みんなは当然のようにキムチを食べているので、こんなに辛いのがよく食べられるな、と思いました。

夕食を食べた後、僕はギョソク君と一緒に、バドミントンをしました。途中で、ギョソク君の友達二人と合流して、ギョソク君の家から歩いて10分くらいで着く大学の体育館でバドミントンをしたのですが、着いたのが夜の8時くらいだったので驚きました。普段こういうことをしないので、これも貴重な体験になりました。その後、大学の運動場で、コリアンチキンを

食べました。照り焼き、マスタード、ソースの3種類の味があり、どれもおいしかったです。残ったコリアンチキンは、家に帰る途中で、一緒にチキンを食べた友達とは別のギュソク君の友達の家に行って渡しました。その子の家も、高層マンションでした。

家に帰ってきてから、ギュソク君に日本のお土産を渡しました。そしたら、ギュソク君からお土産をもらいました。僕の家に来てくれたときもお土産をもらったので、お土産をもらい過ぎている気もしました。

ホーム・ステイ前は、言葉は英語が通じるだろうか、ギュソク君の家のルールを守れるだろうかなど、たくさんの不安がありました。その不安がすべて消えてしまうくらい、楽しく過ごせました。

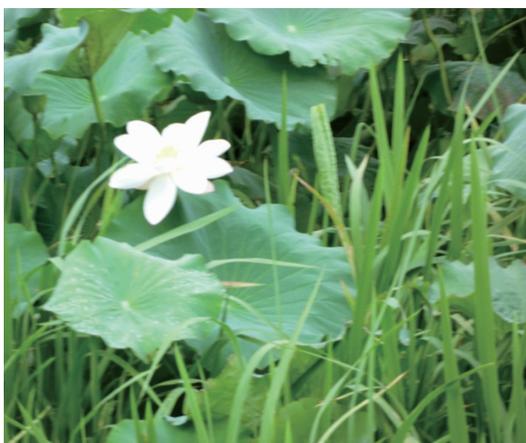
翌日の朝、ギュソク君のおばさんに会いました。かなり日本語のできる人だったので、びっくりしました。そこで、僕が買いたいと思っているものがどこに売っているかを聞いたのですが、結局わかりませんでした。しかし、その日の夜の歓迎会で、お父さん達がそれを持ってきてくれたのです。僕はどうお返ししたらいいだろうと思いました。

僕が大学に行くぐらいになったら、またギュソク君の家に行きたいです。その時には、韓国語がスラスラと話せるようになっていたいです。

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

ギュソク君と別れる時、姿が見えなくなるまで手を振ってくれました。国も言語も違いますが、友達になれたと思いました。

ギュソク君達とコリアンチキンを食べている時に、竹島のことを話したら、「It's mine.」と言われました。やはり韓国人はみんな、竹島は韓国のものであるのでしょうか。しかし、対立しているだけでは何も変わらないと思います。きちんと話せる場をつくり、今回の務安郡派遣を無駄にせず、韓国と話し合い、仲の良い国になれる日を僕たちが作らなければと思いました。



## 体験・研修レポート

北名古屋市立西春中学校1年 大島 央樹

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

北名古屋市から研修派遣の募集があった時、僕は今までに1度も飛行機に乗ったことも海外に行ったこともなかったので、行ってみたい、いろいろなことを知りたい、と思いました。そして、大勢の大募者の中で、抽選に当たった時は、凄くうれしかったです。

北名古屋市での交流会前日は、韓国の人と仲良くできるかなと心配で夜も眠れませんでした。最初は、緊張してチョン・クォンヌン君とは話すことができなかつたけれど、ピング大会をきっかけに少しずつコミュニケーションをとることができました。その後の施設見学や僕の家で過



ごす時は、ジェスチャーを使ったり、片言の英語で話しかけたりして、仲良くなれました。務安郡へ出発する前の事前研修会では、韓国語を教えてもらい、頑張つて勉強したので、簡単なあいさつや自己紹介ができるようになってよかったです。

務安郡での5日間は、いろいろな所を見学し、韓国料理を食べ、あつという間に過ぎていきました。特に印象残っていることは、白蓮池で韓国の友達と一緒にボートに乗り、きれいなハスの花の周りを廻ったこと、韓国の民族衣装をきたこと、そして肉料理をほとんど毎日のように食べたことです。この研修派遣に参加できたことで、学校は別々ですが同じ市内の中学生や務安郡の中学生と仲良くなることができました。そして、ガイドさんや引率してくれた先生、職員の方々などたくさんのお会いもあり、とても感謝しています。僕にとってとても良い経験ができ、本当に良かったです。

### 2. 務安郡でのホーム・ステイを体験して

僕のペアのクォンヌン君はとてもおとなしい子で、顔がいとこに似ていました。僕の家に来たときは、手作りの流しそうめんやバーベキュー、スイカわりや花火をして楽しんでもらいました。韓国で、僕がクォンヌン君の家にホーム・ステイする日は、お父さんが迎えに来てくれましたが、移動中の車の中では緊張して話すことができませんでした。しかし、お母さんが優しく迎えてくれたので少しずつ慣れ、たくさんコミュニケーションがとれるようになってきました。そういえば日本でのクォンヌン君も同じ気持ちだったのかなあと改めて思いました。クォンヌン君の家族は僕と同じ5人家族ですが、僕と違うところは、お兄さんとお姉さんがいることでした。到着して少し休んだ後、クォンヌン君のお父さんが、パソコンで僕のお父さんのブログを見せてくれました。そして話をしているうちに同じような仕事だということが分かり、とても驚きました。

その日の夜は、お母さん手作りの「参鶏湯」を頂きました。すごいボリュームでビックリし

ましたが、とてもおいしくて日本では食べられないものなのでたくさん食べました。「参鶏湯」は鶏肉が丸ごと入っていて、鶏肉の中には、もち米が入っていました。その後、クォンヌン君と囲碁で対決しました。韓国にも日本と同じようなゲームや遊びがあるんだなあと思いました。クォンヌン君は強くて、僕は5回中1度しか勝てませんでした。



朝は、プルコギを食べました。1日目で食べたお店のものよりも200倍おいしかったです。別れる時はさみしかったけれど、クォンヌン君のお父さんがまた会いにおいでと言ってくれたので、またいつか会いに行きたいなあと思いました。その時は、緊張しないで韓国語（ハングル語）で会話ができたらいいなあと思います。とても良い思い出ができました。

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

今回の研修でいろいろな施設を見学し、また、異国で過ごしている中で、国によって文化や歴史の違いがあることを知りました。実際に民族衣装を着てみて感じたことは、日本の着物より生地がさらさらで、すごく涼しいということです。また、お茶の入れ方も、日本は抹茶を立てるのに対し、韓国では、直接やかんにお茶の葉を入れ、日本の作法より簡単だということを知りました。その他、食べ物や食事のマナー、信号など、ちょっとした生活の中にもたくさん違いがあることに気がきました。

ホーム・ステイでは、人の優しさ、家族の温かさを感じました。お互い人を思いやる気持ちがあれば、たとえ言葉が通じなくても、誰とでもどんな国の人とも仲良くなれると思いました。



今、韓国と日本の間には、さまざまな問題があるようですが、それぞれの国の良さを理解しようという気持ちが大切なのではないのかなあと思います。僕たちに何ができるかわかりませんが、少しでも韓国との懸け橋になればいいなあと思います。

務安郡は、緑あふれる自然が豊かな所でした。ここで体験したことは、僕の貴重な財産です。この韓国の研修に参加できてほんとうに良かったです。

## 体験・研修レポート

北名古屋市立西春中学校1年 加藤 有梨奈

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

私は8月16日から8月20日まで5日間韓国の務安郡に行かせてもらいました。最初はとても不安でしたが、韓国と一緒にいった友達が仲良くしてくれたので楽しんで行くことができました。最初、飛行機から韓国を見ていたら日本よりもたくさんのビルがありマンションもとても高かったのでビックリしました。韓国で過ごした5日間、たくさんのことを学んだり体験したりしました。特に印象に残っているのは茶道体験です。茶道体験では日本と違うところをたくさん見つけました。韓国のお茶は日本よりも味が薄く、あまり苦くありませんでした。しかし、韓国のみんなは苦いと言っていました。また、茶道などの体験をした後に買い物に行きました。買い物をしていてとてもびっくりしたことは、店員さんのほとんどが日本語を話していたことです。そのおかげで、値段を聞いたり、お話をしたりすることができたので、買い物がとてもしやすく楽しかったです。今回のこの中学生韓国務安郡研修派遣では、日本では体験できないさまざまなことや韓国の文化に直接触れることができ、大変勉強になりました。また韓国に行く機会があったらこの経験を生かしていきたいと思います。



### 2. 務安郡でのホーム・ステイを体験して

私は同じ学年のユジョンちゃんの家泊めてもらいました。ユジョンちゃんの家は私を温かく迎えてくれました。本当の家族のように接してくれたり、気をつかってくれたりして、とても嬉しかったです。夕飯は外のお店に連れて行ってもらいました。ご飯を食べている時も、ご飯をお皿によそってくれたりお水をついでくれたりしました。

ご飯を食べ終わった後、ショッピングセンターに行きました。そこで私の家族のお土産を見ていたら、ユジョンちゃんのお母さんがユジョンちゃんとおそろいの服と腕輪を買ってくれました。



ショッピングセンターで買い物をした後、噴水のショーをみんなで見に行きました。とてもきれいでした。噴水のショーを見た後、ユジョンちゃんの家に戻り少し遊んでからお風呂に入りました。ユジョンちゃんの家のお風呂も、ホテルのようにトイレとお風呂が一緒だったので驚きました。私がお風呂に入った後、ユジョンちゃんがお風呂に入り、その後ショッピングセンターでお母さんが買ってくれたブドウを食べさせてもらい

ました。私はブドウが大好きなので嬉しかったです。それからユジョンちゃんと一緒に寝ました。翌朝のご飯は、とても多くて少し残してしまいました。1日というとても短い間でしたが、ユジョンちゃんの家族とも過ごすことができ、ホーム・ステイでの思い出をたくさん作ることができたので、とてもいい経験になりました。これからもユジョンちゃんと交流していきたいと思います。

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

私が韓国で学んだことが二つあります。一つ目は、英語はとても大切だということです。私は韓国に行ってもなかなか韓国語を話せなくて、相手に伝えたいことが伝えられませんでした。その時、ユジョンちゃんが私に何かを伝えるために英語で話してくれました。私もそれからは英語でユジョンちゃんとコミュニケーションをとるよう努力しました。



英語は世界共通語で、他の国に行っても英語を使ってコミュニケーションをとることができるので、これから海外に行く機会があったらしっかりと英語とその国の言葉を勉強していきたいと思います。

二つ目は日本と韓国の文化の違いです。日本と韓国はとても近い国同士ですが、文化は全然違います。特に文化の違いを感じたのは、茶道体験中のチマチョゴリを着た時です。チマチョゴリは日本で言うと浴衣みたいな感じですが、チマチョゴリは上下が離れていて浴衣よりも着やすかったです。

今回、この務安郡への中学生研修派遣に参加させていただき、たくさんのことを学んだり、体験したりしました。この経験を日本での生活に活かしていきたいと、今強く感じています。また、引率していただきました北名古屋市の方、また、中学校の先生方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

## 体験・研修レポート

北名古屋市立白木中学校1年 細倉 千希

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

今回私は8/16～8/20の4泊5日の日程で、北名古屋市の研修派遣に参加し、韓国の務安郡へ行きました。

私はその研修派遣を通して2つの事が印象に残りました。

まず一つ目は、韓国人との会話です。当たり前の事ですが、韓国では日本語がほとんど通じません。飛行機の中や食事をしに行ったお店の方、また、ホーム・ステイ先の家族の方と会話でのコミュニケーションが取れないため、自分がどうしたいかということなかなか伝えられずとても大変でした。しかし、事前研修で自己紹介や簡単な会話の勉強をしたり、韓国語の単語や会話の本を購入して持って行ったので、それらを使いながら片言の韓国語で話しかけました。そのため、韓国に居る日が経つにつれ簡単な挨拶や会話などができ、コミュニケーションが取れるようになりました。

2つ目は、韓国の食文化についてです。日本の韓国料理は主に、日本人の舌に合わせて作られたものです。しかし、私は本場の韓国のキムチやビビンバ、そして焼き肉などの料理を実際に食べてみて、想像していたほど辛くなく、とても美味しく感じました。

また、食事のマナーも日本とは異なることがいくつかありました。韓国では食事の際、ステンレス製の箸（チョッカラ）とスプーン（スッカラ）を使用します。茶碗やお椀を手を持って食べる日本に対し、重くて熱を通しやすいステンレス製の食器が使われる韓国では、器は食卓に置いたまま、スプーンで食べる習慣があります。



### 2. 務安郡でのホーム・ステイを経験して

4泊5日の日程の内、1泊を同じく派遣研修に参加して私の家にも泊まった韓国の中学生の家にホーム・ステイさせてもらいました。私がホーム・ステイをした家は一軒家で、お父さんとお母さんと高校生と大学生のお兄さんが2人、それと研修派遣に参加されたミンジョンさんの5人家族でした。



ホストファミリーの方々と一緒に食事に出かけたり、お風呂の後髪を乾かしていると、その家のお母さんがドライヤーをかけてくれたりと私を温かく迎え入れてくれてくださいました。しかし、困ったこともありました。ホストファミリーの方々が一生涯懸命に話しかけてくれるのですが、私は何を話しかけてくれているのか分からず、答えられないということがありました。もっと事前に勉強して会話ができればいろいろな話ができたとすると残念です。で

すが、このホーム・ステイで思ったことは、いくら言葉が通じなくても心は通じるということです。ホストファミリーの方々の温かさや優しさを肌で感じる事ができました。この事は、私にとって一生忘れられない思い出となりました。

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

私は、務安郡で初めて韓国の民族衣装のチマ・チョゴリを着ました。チマ・チョゴリは、上の服が『チマ』で下の服が『チョゴリ』と言うそうです。韓流ドラマの時代劇などでチマ・チョゴリを着ているシーンを見たことがあるので一度「着てみたい!」と思っていたので今回着ることができてとても嬉しかったです。この、チマ・チョゴリを着て韓国でのお茶を入れる作業をしました。韓国のお茶



の入れ方は日本のお茶の入れ方と少し違い、一つ一つを慎重に行っていました。

今回この研修に参加して、お隣の国である韓国について様々なことを実際に見て体験し、学ぶことができました。国が異なれば食文化や生活文化も異なり、日本で当たり前だったことや自分にとっての当たり前が韓国では当たり前ではないと改めて気がつきました。

しかしながら、お互いを思いやる気持ちや分かりあおうとする気持ちがあれば、たとえ言葉が通じなくてもその思いや気持ちは伝わるものだと感じました。

韓国と日本には戦争の悲しい歴史や領土問題等簡単には解決できない問題もありますが、ホストファミリーをはじめ韓国でお世話になった方々は皆優しく親切な方ばかりでした。私は韓国が好きになり、韓国の人ともっと知り合いたいと思いました。そして日本のことももっと知ってもらいたいと思いました。

## 体験・研修レポート

北名古屋市立白木中学校1年 半谷 瑠莉

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

私は、北名古屋市国際交流という研修に参加し、4泊5日で韓国に行きました。私は、両親から「こんないい機会はない。」と言われました。私も韓国に行ってみたいと思い、この研修に応募しました。それから、抽選会に行き、応募した人が多かったのでびっくりしました。女子15人中の6人に選ばれ、とてもうれしかったです。研修会に参加すると、知らない人ばかりでとても不安でした。二回の研修会に参加し、一緒に行く友達と仲良くなれたので不安も少しずつ減っていきました。出発の日が近づき、韓国へ行く準備をしている時、期待が膨らんできました。8月16日の朝になりみんなに会いました。中部国際空港に向かう電車の中では、韓国の話で盛り上がり、韓国へ行く期待がさらに膨らんできました。

飛行機に乗り韓国のソウルに着いた時、驚きました。それは、韓国では、車は右側通行ということでした。また、高いビルが多く北名古屋市と違って東京みたいな都会でした。

ソウルの街で一番印象に残っているのは景福宮（キョンボクン）です。景福宮には門が三つあります。真ん中の門は王様しか通ってはいけなそうです。守門将の交代儀式を見てすごい迫力でびっくりしました。もう一つは、明洞（ミョンドン）です。私の母は韓国ドラマが大好きなので、明洞を見学している時、知っている韓国ドラマのロケ地があったりしたので楽しかったです。



韓国と日本の違いでびっくりしたことがありました。それは、韓国のホテルは、シャンプーなどお金を払わないと使えないことです。それから、日本の通貨は円ですが、韓国はウォンでした。国によってお金の通貨が違うということがよく分かりました。次に、韓国の人は普段からチマチョゴリを着ていると思っていましたが、実際に会ってみると、日本と同じような服だったので少しだけびっくりしました。

韓国のいろいろなお城を見ました。日本のお城とは全然違った造りでした。日本で例えると、平安時代の建物の造りに似ていると思いました。

### 2. 務安郡でのホーム・ステイを体験して

私はホーム・ステイ体験が一番不安でした。その理由は、日本語の通じない所へ一人で泊まるからです。学習した韓国語・英語やジェスチャーを使い少しだけ通じました。通じた時は、とても嬉しかったです。ホーム・ステイ先のオ・スヨンちゃんが優しくしてくれたので安心して過ごすことができました。そして、ホーム・ステイ先のお父さんとお母さんも優しく気づかせてくれたので、少しずつ不安も無くなりました。

ホーム・ステイ先では、家族みんなでご飯を食べにいきました。そこではお刺身を食べました。味も食感も日本のお刺身と同じでしたが、私はお刺身があまり好きではないので少し残念



でしたが、楽しく過ごすことができました。

その後、ショッピングセンターに行き、アイスクリームを食べました。アイスクリームは日本と違って小さな粒に固められているアイスクリームで、デッピンドッツアイスというそうです。粒だったから慣れない為、少し食べ難かったけど、とてもおいしかったです。ショッピングセンターでは、私の好きな KARA のグッズなどを買ってもらいとてもうれしかったです。

家では、ヨーグルトを食べたりオ・スヨンちゃんとおしゃべりしたりしてとても楽しい時間を過ごせました。私は家の中で驚いたことがあります。まずはお風呂です。夏は、シャワーだけで、湯船にお湯をためないことです。シャワーだけだったので少し寒かったです。また、ホテルみたいにトイレとお風呂が一緒の部屋にあったので少し不便でした。次にご飯です。朝・昼・晩必ずキムチがでていました。そして韓国では、ご飯の時“いただきます。”や“ごちそうさま。”を言わなかったり、お茶碗を持たずに食べたりなど日本と違うところがたくさんありました。

一日のホーム・ステイでしたが、とてもよい思い出になり家族の皆さんとも仲良くなれて絆が深まったように思いました。

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

私は、務安郡で茶道を体験しました。日本にも茶道がありますが全く作法が違い、とても難しかったです。そして、民族衣装のチマチョゴリを着ました。韓国の人は一りで着ていてすごいと思いました。私は、浴衣も一人で着ることが出来ないで余計にすごいと思い、自分で浴衣が着られるようになりたいと思いました。

次に、パト牧場で干潟体験をしました。行く途中のバスでは、がたがたと揺れみんなで大騒ぎして楽しかったです。干潟では色々な種類の貝を見つけました。また、牛にご飯をあげる体験では、少し臭かったけど、ご飯を食べてくれてうれしかったです。その後、みんなでチーズとアイスクリームを作りました。チーズはあまりチーズという味や食感がしなかったので少し残念でした。アイスクリームは、みんなで力を合わせ協力しながらビンをふったので、とてもおいしく出来ました。

自然史博物館では、恐竜の4D映像を観ました。しかし、言葉が全て韓国語だったので話の内容がよく分かりませんでした。もっと韓国語の勉強をしたいと思いました。

私は、この体験を通して言葉が通じなくても友達になれるということが分かり、お互いの文化に触れることができ、とてもよい経験をすることが出来ました。これからも手紙などで交流を深めていきたいと思います。そして、この国際交流に参加し、自分自身が少し成長できたように感じました。本当によい体験をし、たくさんの良い思い出ができました。この機会を与えてくれた人達に感謝します。



## 体験・研修レポート

北名古屋市立訓原中学校1年 牧元 一哉

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

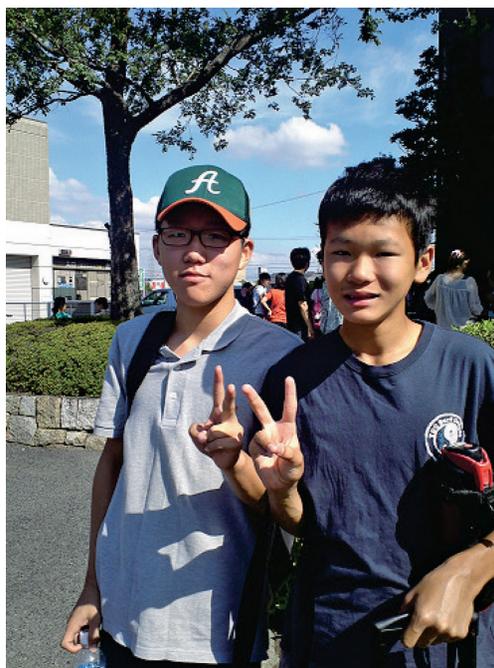
僕の中学校生活が始まってからすぐに、学校から「中学生韓国務安郡 研修派遣」の案内が配られました。僕は、ホーム・ステイや韓国の文化を体験してみたかったし、今回が初めての海外旅行ということもあり、応募してみたいと両親に相談しました。両親は、異文化に触れることは僕にとってとてもいい経験になる、と賛成してくれました。

図書館で借りた韓国に関する本を読んでいると、ますます研修派遣に参加したいという気持ちが強くなってきて、その思いを作文にして応募しました。抽選の結果は…当選でした！少し不安もありましたが、それよりも韓国訪問できるんだ、とわくわくした気持ちで一杯でした。

僕たちが韓国語等について事前研修を終えた後、7月31日に韓国の中学生が僕たちの住む北名古屋市にやってきました。夕食を兼ねた歓迎会の翌日、一緒に電気の科学館と名古屋港水族館を見学しました。

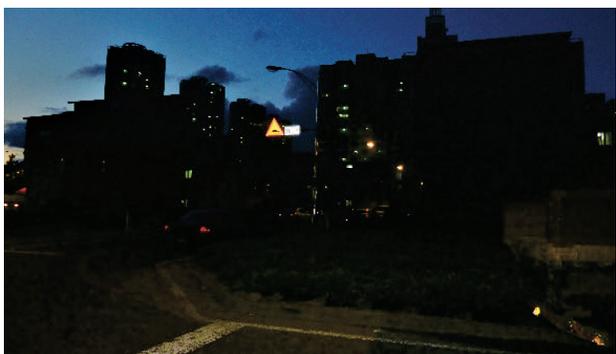
初めは、一緒に参加する日本人の中学生とさえうまく話せませんでした。行動を共にするうちに、だんだんと打ち解けることが出来ました。僕の交換ホーム・ステイ相手の「パク・ボミ」君は日本語が判るので、僕も積極的に話しかけることが出来て、とても楽しい時間を過ごしました。

今度は僕が韓国を訪問する番です。8月16日、セントレアから韓国金浦空港に到着して周りを見てみると、そこにはハングル文字と高層マンションが目立ち、韓国に来たことを実感しました。他にも、信号のライトは4つあり、車は右側通行、見たことのない道路標識、植物等、日本と韓国の様々な違いを見つけることが出来ました。8月20日までの5日間は毎日があっという間で、新鮮でした。とても貴重な体験が出来たと思います。



### 2. 務安郡でのホーム・ステイを体験して

ホーム・ステイ先では、お母さんが日本人ということもあり、家族の方全員が日本語を話せたので、沢山会話することが出来ました。



ボミ君と兄弟に周辺を案内してもらい、務安郡は高層マンションが建っているのに自然が豊かな場所であること、教会がいたるところに建っていること、マンションの周辺には必ず運動したり遊んだり出来る場所があること等、教えてもらいました。

お母さんからは、韓国の学生は夜遅くまで学校で勉強するので、お店も深夜まで営業し

ていると伺い驚きました。韓国の学生はとても勉強熱心だなあ、僕も見習わなくては、と思いました。また、日本と違って韓国では、一軒家よりマンション住まいが好まれるとも伺いました。お母さんには、僕のカメラのバッテリーが切れたときもカメラを貸して下さったりと、とても優しくして頂いたので嬉しかったです。

務安郡でのホーム・ステイは、日本語が通じたこともあり、韓国について詳しく教えて頂き、最高の一日となりました。

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

務安郡では、韓国式の茶道を体験しました。韓国の礼服を着用し、韓国式のお茶の飲み方、礼儀を教えてもらいました。僕は最前列だったので最初に体験することになり、とても緊張しましたが、指導して下さいた方に「Good!」と褒めてもらえたので嬉しかったです。



白蓮池では4人の班に分かれてボートを漕ぎながら景色を楽しみました。途中から他の班と競争になりましたが、僕たちの班がダントツで一着になったので、4人の呼吸があっていたんだ、と思いました。

翌日は自然史博物館と海洋博物館に行きました。「JUNO」という4D映像はリアルで、実際に水がかかったり、座席が動いたりしたので、とても楽しく見る事が出来ました。更に、博物館の見学は日本語の音声ガイドが流れるイヤホンをつけていたので、韓国の船の歴史、構造等がとても判りやすかったです。

務安郡での研修全般を通して、生活における作法、文化の違いも感じました。トイレの使用方法も日本とは違うので最初は戸惑いました。食事においても、日本とは違い大皿料理が多く、食器を手で持つてはいけません。日本ではお行儀が悪いとされる事が、逆にマナーとされているのには驚きました。

韓国での食事の中で僕が特に気に入った料理は、石焼ビビンバとキムチです。ビビンバの中にゴマ油とコチュジャンを入れて、更にキムチを追加して食べたらとても美味しかったです。また、韓国では毎食キムチが出てきます。このキムチのおかげで、韓国人は皆スリムな体型を維持しているのだそうです。バスガイドさんが、韓国人で太っている人はキムチを余り食べない人だとの豆知識を話してくれました。

最後に、この韓国研修派遣に参加して、異国の文化を学ぶことが出来、仲間と協力して行動することができたので、応募して本当に良かったと思いました。隣の国韓国について、何も知らなかった僕が、韓国を身近に感じる事が出来るようになりました。日本と韓国の友好関係がより前進するといいなあと思います。また機会があれば、韓国を訪問してみたいです。

## 体験・研修レポート

北名古屋市立熊野中学校1年 松田 優希

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

この参加により人の優しさ、思い出の大切さを学びました。最後の夜、ベットの上で色々なことを思いました。そして、なにか、大きなものが生まれた気がしました。友達というとても大きな宝物です。なぜかという、友達との初めての海外旅行でとても楽しかったからです。友達は、大切にして一生のものにしたいです。右の写真は、一緒に行った友達です。この12人で行って楽しかったです。初めての韓国は、最初は少し不安でドキドキしていたけれど、友達とのかかわりでそんなこといつの間にか忘れていました。また、韓国の人たち、北名古屋市の市長さんたちに、もう一度会って感謝の気持ちを伝えたいです。研修の中で友達と言い合うこともあったけれど、それも思い出の一つです。この12で行ったことが日本と韓国とを繋ぐ架け橋になったことになれば、とても嬉しいです。これからも、このような活動を行ってほしいです。

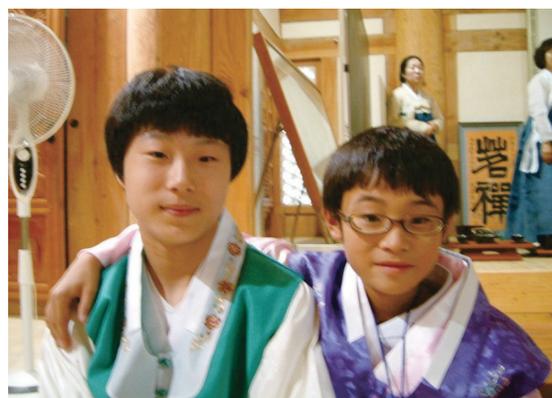


【務安郡派遣のメンバー全員と】

### 2. 務安郡でのホーム・ステイを体験して

僕は人の手の暖かさや優しさを学びました。

ホーム・ステイ先の家族は、とても優しい人たちでした。右の写真は、僕とホーム・ステイ先の友達です。友達の名前は、パク・スンヒョク君です。この前までは、他人だった人に仲良く接する事ができるのは、人間だけだと思います。ホーム・ステイ先の家はマンションでした。家族は、とても暖かいものだと思っていました。また会って一緒に過ごせたらいいと思います。そして、韓国と日本の名所を回りたいです。ホーム・ステイ先の家族とは、他人ではなく、縁あって知り合えた関係として、また再び会い共に過ごす事ができればうれしいです。この思い出は、忘れられない大切な宝物なのでずっと心の中においておきたいです。ホーム・ステイ先の家族が言葉が分からなくても分かるうとしてくれて嬉しかったです。もっと韓国語を勉強していくべきだったとホーム・ステイ先で思いました。また、こんど会うときは、もう少し韓国語で会話ができると良いと思います。そうすれば、今回よりも楽しいホーム・ステイになると思います。



【パク・スンヒョク君と】

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

学んだことの一つにお墓があります。韓国の墓は昔からある土葬と最近始まった日本と同じ

火葬です。右の写真が土葬です。火葬は、日本と一緒にです。土葬は、珍しいけれど少し怖いです。土葬の墓は、だいたい山にあります。韓国では、高速道路を走っていると周りの山にたくさん土葬があります。この土葬は、死者を棺桶の中に入れて、それを土に埋めます。そして、土を山のようにします。それで終わりです。今は、場所があまりなくて土葬と火葬で半分ずつです。火葬は、墓石に直接名前などを彫りますが土葬は、墓の前の別の石に彫ります。土葬は、現在の日本にはないと思います。ここが、日本と韓国との違いです。



【韓国の墓である土葬】

ソウルでは、景福宮に行きました。景福宮では昔、臣下と王様で歩くところが違ったそうです。とても驚きました。韓国が今も昔のように歩くところまで制限されたら外を歩くにも大変で、疲れると思います。この歴史は日本には、無いものだと思います。

また神社にある鳥居は、韓国から伝わったそうです。鳥居は鳥がいる形だから鳥居というそうなのですが、僕は知りませんでした。昔、鳥居は家にあるものでした。鳥居がある家は神様がいるといわれていたそうです。ですから、鳥居は神社の入り口にあります。この鳥居は、鳥に見えることもあれば、角度が違えば鳥には見えないこともあります。ほくは、初めて博物館で韓国の鳥居を見たとき、どこが鳥の形か分かりませんでした。でも、ほかの角度から見たら鳥の形で驚きました。ホーム・ステイ先には、なかったのを見ました。それは、キムチやみそなどを入れておく大きな壺でした。あまりにも大きくて驚きました。説明では、稲やみそ、キムチなどの壺がたくさんある家がお金持ちとなるそうです。

韓国の家にはオンドル部屋とオンドル部屋ではないものがあります。オンドル部屋とは、床暖房のことです。米を炊いた湯気で床を温めます。その湯気は、煙突から、外に出されます。これはエコだとほくは思います。理由は、米を炊いたあと、その湯気を利用しているからです。

韓国のコンビニエンスストアは、セブンイレブンやサークルKなどの日本に多くある店がよく見られました。コンビニの中は、日本と変わらずレジの前にガムなどが売ってありました。ジュースもスプライトなど日本と同じような物がありました。

干潟体験では、カニやムツゴロウがいました。ムツゴロウが捕まえられなくて残念でしたがカニが捕まえられて嬉しかったです。保護区には、大きなカニがたくさんいました。でも、入れなくて観察だけでした。干潟体験は、とても楽しかったし良い体験になりました。

牧場体験のアイス作りやチーズ作りは楽しかったです。自分で作ったアイスやチーズはとても美味しかったです。アイスはココア味でした。ヨーグルトに入れて、食べました。暑いときに食べられて、よかったです。牧場体験、干潟体験をやったり、韓国の名所を回れてよかったです。とても、良い体験になりました。そして、たくさんのお話を学びました。この、韓国派遣に関わっていたお世話になった人たちには、感謝の気持ちでいっぱいです。また韓国の人たちに会える機会があると良いとおもいます。本当にこの体験の思い出は一生の物になったし、たくさんのお友達もできて良かったです。

## 体験・研修レポート

北名古屋市立天神中学校1年 吉田 朱里

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

私は今回、中学生韓国務安郡派遣研修に参加することができました。私の研修参加の目的は2つあります。1つ目は、韓国の言葉や文化について学びたいということ。2つ目は、日本語を使わず会話をするということでした。事前の研修会で、韓国語を学びました。韓国語は日本語と比較的に似ている単語もあります。例えば「運動」は伸ばす発音ではなく「ウンドン」と言います。私は、挨拶や自己紹介を練習して韓国へ行ったのですが、残念なことに半分ほどしか伝わりませんでした。私にとって韓国語はとても新鮮に感じ、難しくもあり、興味深くも感じました。私は日本でもよく食べるキムチに興味を持ちました。バスガイドさんがキムチは韓国の人にとってとても欠かせない物で、どんな食べ物にも合うということ、また、美肌効果があることや、小さい頃から食べてないと好き嫌いをして太ってしまうということなどを教えてください、私にとって、キムチはただ辛い物と思っていた食べ物もから、すごい食べ物に変化しました。研修では、朝鮮王朝第一の法宮である景福宮や、国立民俗博物館などへ行くことができ、日本と韓国の文化の違いや韓国の歴史を学ぶことができました。何よりも一番の経験は、お世話になったホストファミリーの心の温かさを感じ、韓国の友達が陽気でフレンドリーに接してくれて、言葉で通じるのではなく国を超えて心で通じあえたことでした。



### 2. 務安郡でのホーム・ステイを体験して

私は、以前イギリスに語学留学へ行ったことはありますが、ホーム・ステイは今回が初めての体験です。初めは、不安な気持ちと緊張でいっぱいでした。しかし、ホストファミリーが迎えに来てくれた時、とても温かく接してくださったので、すぐに不安や緊張はなくなりました。初めはなかなかコミュニケーションがとれませんでした。私の家族のことや、好きな食べ物は何か？など、英語で話していただき理解することができました。私も英語でコミュニケーションをとりました。シャワーを浴びたあと、夕食はビュッフェを食べに行きました。私は辛いものが苦手ですが、みんなから「Let's Try」と言われて食べました。辛いものは、やはり



苦手でしたが、ほかの料理はすごく美味しかったです。夕食後、イルミネーションを見に行きました。光と噴水のショーがとてもきれいでした。絵描きさんがいたので、私とジヨンちゃんの似顔絵を描いてもらいました。この絵は私の宝物になりました。

その後、ショッピングに行ったり、露店のゲームをしたりして務安の町を満喫しました。帰宅後はホストファミリーとテレビを見たり、おしゃべりをして、あっという間に時間が過ぎてしまい、寝たのは1時頃でした。翌朝の朝食にプルコギが出てきて、私は朝からプルコギを食べる習慣にとっても驚きました。朝食後すぐ別れの時間となり、「ヨロカジロ カンサヘッサムニダ。」(いろいろとお世話になりました)とお別れの挨拶をしました。私はとても寂しく思いました。こうして、1泊2日のホーム・ステイは短く、あっという間に終わってしまいました。

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

務安郡では、伝統文化の体験や見学を行いました。私が一番心に残っているのは干潟です。干潟には貝、カニ、魚、水鳥などが生息していました。友達と一緒に貝殻を拾ったり、カニを捕まえたりと楽しみながら、干潟について学びました。名古屋にも藤前干潟があり、帰国後に一度行ってみたいと思いました。草衣禅師誕生地では、民族衣装「チマチョゴリ」を着て、茶道の体験をしました。韓国の茶道は、お茶の葉をきゅうすに入れてお湯を注ぎ味も苦味がなくおいしかったです。チマチョゴリの「チマ」は、スカート、「チョゴリ」は上衣を示していることを教えていただきました。

回山白蓮池見学では、十万坪の敷地に緑色の葉の中に白い花が咲いていて、とてもきれいでした。そこで、友達とボートを漕ぎ、白蓮池を見学しました。最後に韓国務安郡派遣研修に参加し、たくさんの経験をし、学び得たこと。そして、一緒に参加した友達と5日間楽しく研修できたことに感謝しています。ありがとうございました。



## 体験・研修レポート

北名古屋市立天神中学校1年 畑野花奈

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

私はこの研修派遣で5日間韓国で過ごし、とても楽しくたくさんのお話を学びました。

事前学習では、韓国の文化・言葉・歴史などを学びました。特に韓国語を勉強したので、少しは通じるかなと思っていましたが、全然通じなくて大変でした。もっと韓国語を覚えて行けばよかったと後悔しました。

私は、外国に行くことが初めてだったので、とても緊張しました。機内では、今回の研修派遣でできた友達とたくさんおしゃべりしました。私だけが不安じゃないんだい言うことがわかり、少し気持ちが楽になりました。

バスから見るソウルの景色はとてもきれいでした。ソウルは高いビルが多くて、都会だなあと思いました。

一方で、ホーム・ステイをした務安は自然がたくさんありました。山や海や白蓮池の眺めはとてもきれいで、感動しました。

ソウルと務安は全然似てないけどどちらも良い所だなあと思いました。



### 2. 務安郡でのホーム・ステイを体験して

務安ではパク・ジュヨンちゃんという同じ年の女の子の家にホーム・ステイをしました。

家はマンションでとてもきれいでした。言葉が通じなくて困っていると、お父さんが日本語を話せる人に電話をして、通訳をしてもらうなど、ホストファミリーはやさしくて、良い人だったので安心しました。

夕食は「カルビ」を食べに行きました。食事の後、もうお腹いっぱいなのに、ショッピング



に行き、帰りにお寿司を食べにいきました。韓国の人は、食べる量が多くてびっくりしました。朝食もカルビ、プルコギなどたくさんのおかずがあり、食べるのがとても大変でした。韓国料理は辛いものが多く、日本とは違った味付けで、初めて体験する味ばかりでした。毎食、辛くて少し酸味のあるキムチが付いていたことがとても印象に残っています。

お別れの時、「カム サ ハム ニダ」(ありがとうございました)「ト マンナヨ」(また会いましょう)と言い、ホーム・ステイが終わりました。

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

務安郡は、山・海・池などとても自然に恵まれたところです。務安地域の黄土にはゲルマニウム成分が多く含まれており、畑ではさつまいも・玉ねぎ・ニンニクを生産しています。玉ねぎジュースもありました。白蓮池ではボートに乗り、実際に白蓮に触れることができました。白蓮の葉はとても大きくて、花がきれいでした。白蓮池は10万坪もあるそうです。

干潟では、新鮮なタコが捕れます。干潟センターに行き、干潟のことを学んだ後、実際に干潟に行きました。横歩きじゃなく、前に歩くカニがいると言っていたので、見たかったけど見ることができず残念でした。

チマチョゴリを着て茶道体験もしました。作法はすごく難しかったけど、その時に飲んだお茶はとても美味しかったです。

他にも、パト牧場でソフトクリームとチーズを作ったり、航空宇宙展示館などにも行きました。

伝えきれないぐらいのいろいろな体験をすることができました。これからの私の人生に大きな影響を与える研修派遣でした。

韓国で出来た友達とメールをし、これからもずっと交流を続けていきたいです。



## 体験・研修レポート

南山中学校男子部1年 重松 貴裕

### 1. 北名古屋市の研修派遣に参加して

僕が、今回の務安郡の派遣に参加した理由は、2年前に姉がこの韓国務安郡研修派遣に参加し今も韓国の子と英語でメールや手紙などのやり取りしているのを見て、僕も英語でやり取りできる韓国の友達が欲しいなと思い応募しました。

また韓国という日本ととても近い国であるのに言葉や文化が違うのでそのようなものを自分で体験してみたいと思いました。

この体験で僕が一番学びたいと思っていたことは今まで少ししか触れたことのなかった韓国語というものです。近くの国なのに全く違うものが言葉なのです。「こんにちは」だけでも韓国の人と話して少しでも会話をしたいと思っていました。実際、通訳の人がついていてくれたのであまり韓国語を話す機会が少なかったのですが、ホーム・ステイ先では、自分から会話をしてみました。少しでも会話する事ができ、とてもいい経験になったと思います。またそれと同時に日本との文化の違いを見つけたいと思っていました。ガイドブックには書いてないことを見つけてみたいなと考えていました。



### 2. 務安郡でのホーム・ステイを体験して

韓国に行くことが決まってから、正直しっかり相手の家族の人に話せるか、なじむことができるのか、など全てが不安でした。両親も姉も「大丈夫、自分からこんにちは、といえば打ち解けるよ。」と言って背中を押してくれました。



智元君が僕の家に来たときはあまりしゃべれなくてほとんど母に頼ってしまいました。ですから今度こそはという気持ちでホーム・ステイをしました。韓国の飛行機に乗るときからずっと会いたいなと思っていました。

僕は、智元君に会えたとき、懐かしさと照れくささで挨拶するのが少し遅くなってしまいました。しかし、智元君の家の人たちはとても優しく明るくて、そして僕を温かく迎い入れてくれました。

この時なんだか人ってすごいなと思いました。その日会ったばかりの外国の子を自分の子供のように接してくれるからです。

智元君のおばあちゃんは、日本語をしゃべることが出来てあまり言葉には困りませんでした。ですが、お母さんやお父さんは韓国語でしゃべっているので時には言葉がわからないとき

もあり困りました。しかし、そのときは自分がジェスチャーをしたり、智元君と英語でコミュニケーションをとったりして智元君の家族と楽しい時間を過ごすことができました。智元君の家の夕ご飯は、魚やお肉など様々な料理を出していただき全てとてもおいしかったです。この日は、ちょうど智元君のお父さんの誕生日だったのでみんなでお祝いをしました。その時教えてもらったことは誰かの誕生日には「チャプチェ」を食べて祝うということです。これは今まで知らなかったことなのでいい体験になりました。チャプチェは少し辛みもあったけどおいしかったので「マシッソヨ」と言ってみると通じたのか笑って「マシッソヨ」と言ってくれてとてもうれしかったです。やはり分からなくてもその国の言葉を自分から言ってみて良かったなと思いました。

智元君の家族に、干潟や海に連れてってもらえて海を眺めたり、風を感じたりしてとても楽しく過ごすことができ、持ってきたお土産を渡すと日本語で「ありがとう」と言ってくれ、その倍ぐらいの物を返してくれてとても感謝の気持ちでいっぱいになりました。別れるときにはお菓子と名刺をいただき、また「韓国に来たときには会いに来てね」と言ってくれ泣きそうになるほどうれしかったです。またいつか必ず会いに行きたいと思いました。

### 3. 務安郡での研修で学んだこと

務安郡では回山白蓮池、ホタム空港、宇宙展示場、牧場、務安生態干潟センター、海洋文化財研究所、自然史博物館といろいろな所にまわり務安郡の文化にいろいろ触れることができ、北名古屋市とはまた違った風景を感じることができました。今回の交流を通して韓国と日本だけでなく世界の人たちとも関わりを持ち、より世界に目を向けていくことがこれからは大切なんだと感じました。



そして、この研修に参加して外国を知るという楽しみが増え、もっと様々な国の様々な文化や言葉に触れ、世界のことをよく知るためにいろいろと勉強してみたいと思いました。当たり前ですが、外国の人に日本語は通じません。だからこそ言葉の壁というものを乗り越えて、できる友達はとても大切なものになると思います。英語をはじめ海外の言葉を勉強して自由に話せるようになったらどれだけの人と知り合いになれるのだろうと考えるとわくわくします。今回のこの派遣で出会った人たちと仲良くしていき、この研修に参加できたことに感謝し、この大切な友達とより仲良くなりたいと思います。

# 務安郡での 体験風景

①

郡庁にて



8/17  
午後

8/17  
午後



茶道体験

回山白蓮池



8/18  
午前

干潟体験



8/18  
午後

牧場体験



チーズ作り

ホストファミリーの見送り



8/18  
夜



歓迎会

# 務安郡での 体験風景

②



(編集)

## 北名古屋市 人事秘書課

〒481-8531

愛知県北名古屋市西之保清水田15番地

TEL : 0568-22-1111 FAX : 0568-25-1800

URL : <http://www.city.kitanagoya.lg.jp/>